



校長室だより

黒部市立村椿小学校

令和8年5月8日

文責：校長 齊木 裕

地域の専門家から学びました

～さつまいもの畝づくりより～

村椿小学校では、毎年地域の方から畑をお借りし、さつまいもを育てています。育てたさつまいもは、各学年で話し合って、決めています。

4月28日（火）に5・6年生が畝づくりをしました。R&Vのざわ農場の能澤喬之さん他3名の方に、畝づくりを教えていただきました。専門家の方々が分かりやすく丁寧に教えてくださったおかげで1時間ほどで、立派な畝が出来上がりました。

教えていただいたこと

- ・5・6年児童が全員が鍬を持っているので、間隔を十分にあけること。
- ・鍬を高く振り上げないこと。
- ・畝を作るときに、穴があかないように、同じ場所から土を積み上げないこと。
- ・土を積み上げたら、鍬でなでるように平らにする。
- ・最後は、とんぼでならす。

今年は、例年以上にまっすぐな畝になったとのざわ農場の方々には、話されました。また子供たちは、指導された方々と会話を楽しみながら、畝づくりをすることができました。連休後には、ペア学年で、さつまいもの苗を植えることになっています。

村椿小学校では、このような地域の方と一緒に活動する行事がとても多くあります。地域の方と交流することで、いろいろなことを学ぶことができると考えます。そのため、このような体験活動を今後も大切にしていきたいです。この後には、5月13日（水）には、5・6年生は、地元のYKKAP株式会社で「地域に学ぶ研修会」として、話を聞いたり、見学したりして、地域産業について学ばせていただく予定です。さらに5月21日（木）には、のざわ農場さんの田んぼをお借りし、JAの方の指導の下、5年生が田植え体験をすることになっています。



R&Vのざわ農場の皆様、畝づくりを指導していただき、本当にありがとうございました。